



令和5年
5月2日(火)

自己実現を図るために

先日(四月二十一日)は、PTA総会、一・二
年生の授業参観、三年生の進路・修学旅行説明会
にご参加頂き、誠にありがとうございました。

授業参観では、保護者の皆様方の視線を少し気
にしながらも意欲的に考え、発言しようとする姿
が見られました。中学校においても、授業での活
躍を見ていただくことは、自己肯定感を高める重
要な機会になると実感しています。

進路説明会では、自分自身のよさや感じ方を知
り、歩みたい人生をしっかりと考え、進路を決定
してほしいという旨のお話しをいたしました。一
人一人が自己実現を図れるよう指導・支援に努め
ますので、今後もご理解・協力をお願いします。
また、二十四日から四日間にわたり、家庭訪問
にご協力いただき、感謝申し上げます。ご家庭の
状況のほか、地域の佇まいや通学路の様子を知っ
ておくことは、生徒理解には欠かせません。今後
も三者懇談等の対面でお話しさせていただく機
会を大切にしていきたいと考えています。

明日から五連休となります。新学年早々の緊張
感も解け、新しい環境に慣れ始めてきたことと思
います。連休で生活のリズムを崩さないよう、ま
た、心身の健康や安全面での自己管理を怠らずに
過ごせるよう、ご家庭でも指導をお願いします。

「学力」の向上に向けて

四月十八日・二十七日には、三年生が「全国
学力・学習状況調査」に取り組みました。生徒
たちは、思考力・読解力を要する歯ごたえある
問題と最後まで粘り強く向き合っていました。
後日、文部科学省で集計される結果を分析
し、授業改善に生かしていきたいと思えます。
一・二年生も二十四日、二十五日に「みえス
タデイ・チェック」を実施しました。今後の全
国学調に向けて力試しの機会です。激しく変
化する未来予想図を見据えながら、学びの有
用感も大切にしていきたいものです。

学力については、「読解力」に注目が集まっ
ています。それは情報の入力(取り出す)だけ
ではなく、取り出した情報を理解・評価(解釈・
熟考)して再構築し、出力(自分の意見を論じ
る等)するまでを含んで捉えられています。
そのため最近の授業では、「教科書に何と書
いてありますか」「教科書のどこに書いてあり
ますか」から、「教科書で確かめ正しいものを
選ぼう」や「教科書をもとにして解決策を見つ
けだそう」などといった問い掛けが多くなっ
てきているようです。

知識の獲得は、背後に「なぜか」「どうしてか」
といった問答の往還があると、より強固になる
と思われまます。「どっちなのか」「本当にそうなの
か」「他に答えはないのか」などと鋭く読み解く
ことで、学力はさらに高まるのではないかと感
じています。

各教科の学力はテストで測れるものばかりで
はありません。例えば、先日(二十八日)の三年
生社会で、与謝野晶子の「君死にたまふことなか
れ」をもとに日露戦争について学習しました。歌
意を知るだけでなく、当時の人々の心引き裂かれ
る思いに心を致し、戦争の本質を認識することな
ども、学力ではないかと考えています。

与謝野晶子は、「塙初より つくり営む殿堂に
われも黄金の釘ひとつ打つ」という歌も遺してい
ます。世の初めから人が営々と築きあげてきた文
化の殿堂に自分も釘一本なりと打ち込みたい、と
いう一途な思いが溢れています。教育とはまさ
に、生徒たちの心に刺さる「黄金の釘」を打つこ
とが使命ではないかと感じていきます。

悩みや課題の相談について

学校では、教師による教育相談のほか、登校や
友だち(親子)関係、学習など、生徒自身や保護
者の方の多様な悩みに対応するスクール・カウ
ンセラー(SC)を配置して、専門的な相談(カウ
ンセリング)を受け付けています。

また、本年度、さまざまな課題を抱える生徒・
保護者の課題解決をより一層強化するため、関係
機関等との連携をコーディネートするスクール・
ソーシャル・ワーカー(SSW)が西陵中学校区
に配置されました。

相談がある場合は、日程調整をいた
しますので、学校にお問い合わせいた
だきますようお願いいたします。

